平成28年度 第1回 熊野大花火大会交通円滑化協議会 更なる交通円滑化に向けた取組方針(案) ポイント

～ 基本方針 ～

- ①交通需要のコントロール(交通分散・早めの来場)
- ②会場周辺の国道42号をいかにしてスムーズに通行させる事が出来るか
- ③待ち時間を快適・有意義に過ごしていただけるか(おもてなしの心)

1. 平成28年の花火開催日

・開催日:8月17日(水)

※予備日18日(木)・22日(月)・23日(火)・29日(月)・30日(火)

2. 熊野尾鷲道路の通行規制

1)花火大会延期時の通行規制

○大会が延期の場合、曜日配置、昨年実績より熊野尾鷲道路の通行規制は実施しない。

2)途中IC閉鎖方法の改善

○地域の利便性・通勤・物流面等に更に配慮し、途中IC閉鎖方法を改善。

・上り(名古屋方面):全車両通行可、途中IC利用可。

・下り(和歌山方面):バス・タクシー・身体障がい者等利用車両のみ通行可、途中IC利用不可。

3)通行規制開始時間

○過去の平日開催時の交通量・渋滞データより昨年同様9時からとする。

4)通行対象車両の拡大

○熊野尾鷲道路下り(和歌山方面)の通行対象車両を、タクシー・身体障がい者等利用車両まで拡大。

3. 自家用車での来訪者

1)早めの来場者に対するインセンティブの付与【調整中】

○交通の分散及び渋滞の立ち上がり抑制を目的に、熊野市内で使えるクーポン券を配布し、早めの来場を促進。

○熊野市・熊野市観光協会管理の臨時駐車場を利用する先着1,000台に、くまの郷土物産展会場で使用できる500円のクーポン券を配布。

4. ツアーバス来訪者

1) ツアーバス到着時間の幅の設定

○熊野尾鷲道路の規制によりバスの定時性が確保できたことから、利用者ニーズに合わせ利便性を向上させることを目的に、駐車場到着リミット要請時刻を14時に設定。

※昨年までは12時までの来場を要請

2) ツアーバスの認知度向上

○公式HPにツアーバス会社とのリンク及び過去の利用者の声(利便性・快適性)をPRし、バス利用への転換を促す。

5. 会場周辺の円滑化対策

1) ツアーバスの方面別駐車

○名古屋方面からのバスは木本小学校以北、和歌山方面からバスは井戸小学校を基本とする。

あわせて、大泊駐車場を一般車両用からバス専用に変更。

2) ツアーバス進入経路の変更

○名古屋方面から来場するバスの進入交差点を井戸町交差点から立石南交差点へ変更することにより、バスの影響による井戸町交差点の課題を解消。

3) 荷さばきスペースの設置と時間・ルールの徹底

○昨年より荷下ろし車両が増えることを想定し、荷さばきスペースの範囲を拡大。

(交差点内・交差点手前は駐停車禁止)。

○駐停車禁止スペースは、カラーコーンをロープ等で繋ぎ、強引な駐停車を防止。

4) シャトルバス降車場所の見直し

○熊野警察署前交差点を起点とした渋滞の改善、シャトルバス利用者、歩行者の交通錯綜、事故リスク回避のため、降車場所を熊野市駅北側の市有地に変更。

6. 情報提供等

1) PA・道の駅等における情報発信の充実

○来場前に交通規制図を入手できるよう、PA・道の駅等に案内ブースを設置。

7. イベント・案内・休憩所の充実

1) 商工会議所等と連携した熊野市駅前イベント・物販の充実【調整中】

2) 新たな休憩所の検討・案内の充実。

3) ピクトグラム等による観光施設等への案内誘導強化。

4) 大会プログラム(交通規制図)の更なる改善。

8. その他

昨年まで実施している下記施策についても、継続して実施。

1) 大会公式HPにおける渋滞情報・駐車場の満空情報の提供。

2) 会場付近の信号現示の見直し(井戸町交差点等)

3) 一般車両の駐車場への案内・誘導強化(道路情報板・案内看板)